

Microsoft社製 DHCPサーバとIntraGuardian2を ご利用頂く場合の注意点

日本シー・エー・ディー株式会社
2012年10月3日

Microsoft社製 DHCPサーバ（以下、MS-DHCPサーバと省略）をご利用されている場合に、IPアドレスを新しく払い出せない現象が発生する場合がございます。

発生環境

MS-DHCPサーバでIPアドレスを払い出しているネットワークで、IntraGuardian2を排除モードに設定し、不許可端末がネットワークに接続されている場合に発生致します。

発生要因

IntraGuardian2は排除を行う際に、IPアドレスの重複を発生させます。IPアドレスの重複を検出した排除クライアントは、DHCPサーバにDECLINEメッセージを送信します。DECLINEメッセージを受信したMS-DHCPサーバは、そのIPアドレスを「BAD ADDRESS」（利用出来ないアドレス）としてマークし、以降払い出しに使用しなくなります。不許可クライアントは新しいIPアドレスの払い出しを受けますが、そのアドレスもIntraGuardian2により重複してしまいます。この状態が続くと、MS-DHCPサーバには払い出し可能なIPアドレスがなくなってしまうます。

対処方法

MS-DHCPサーバを再起動して頂くか、BAD ADDRESSを再利用出来るように設定する必要がございます。

netshコマンドによるBAD ADDRESSの再利用設定は、下記Microsoft社 サポートページをご確認下さい。

[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc787375\(v=ws.10\).aspx#BKMK_dellease](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc787375(v=ws.10).aspx#BKMK_dellease)